

湘南国際村めぐりの森 植樹地の養生・保全作業 — 1,000本の補植を計画 —

2023/03/03

[湘南国際村めぐりの森](#)（神奈川県横須賀市）は、私達の[「いのちの森づくり」](#)プロジェクトの大切な拠点の一つです。112haに及ぶバブル期の開発跡地を、官民一体の「協働参加型めぐりの森づくり推進会議」を結成して、故 [宮脇昭](#) 先生のご指導に基づく「その土地本来の木による本物の森（自然の森）」を再生すべく、2009年から植樹活動を継続しています。

昨秋、植樹地（A地区）の南側に、ドッグラン施設が開設されましたが、工事の際に誤って植樹した樹木の一部が広範囲に伐採され、横枝を人の背丈位から下は強剪定されるという事態が生じました。むき出しになった樹幹が、直接日照を受けることは過酷であり、生長を阻害され最悪の場合は枯れてしまいます。コロナ禍であったとはいえ、事前調整や情報共有が不十分であったことは否めません。推進会議においても重要議題として取り上げられました。経緯と原因の究明及び今後の対策を検討し実施して行くこととなりました。

福祉施設による森づくりチーム「[どんぐりブラザーズ](#)」は、苗木の栽培、植樹、育樹・・・と一連の作業を行い、障害のある方々の就労機会に繋げています。原則、毎週金曜日の午前中、湘南国際村での日中作業に励んでいます。冬季は、オフシーズンで、例年3月中旬から作業再開となりますが、今年は、上記の植樹地の養生・保全のために早めに集合をかけることとしました。

2023年3月3日（金）、「湘南の風 mai！えるしい」&「同えいむ」の2施設のメンバー及び研進スタッフの合計9名が参加し、植樹地（A地区）の南側、ドッグラン施設に隣接し日照や強風の影響を最も受け易い箇所に、「補植」として100本の苗木を植えました。既存の樹木を守るために、林縁部にシャリンバイやトベラ等の低木6種類を混植・密植しました。

当面、かかる養生のための補植を1,000本計画しています。苗木代金及び労賃は、多くの皆様からのご支援により運営している進和学園「[いのちの森づくり友の会](#)」基金から充当して活用させて頂く予定です。



湘南国際村めぐりの森 育樹作業 ～「どんぐりブラザーズ」の地道な取り組み～

2022/12/10

毎週金曜日、10～12時、[湘南国際村めぐりの森](#)には、私達の仲間「[どんぐりブラザーズ](#)」に属する福祉施設メンバーが集まり、植樹地のメンテナンスとして育樹作業（除草・補植・その他保全）を継続しています。

[宮脇昭](#) 先生（横浜国大名誉教授）が提唱された混植・密植方式（宮脇メソッド）に基づき、その土地に合った多様な自然種の広葉樹を植え続け、開発により荒れた土地は着実に緑が蘇っています。障害のある方々の地道な育樹作業が、大きな役割を果たしていますが、この活動を資金面で支えているのが進和学園が運営する「[いのちの森づくり友の会](#)」基金です。多くの個人・団体・企業様から同基金にご寄付・助成・協賛を頂いており、基金を活用して、植樹活動を通じた自然環境保全及び障害者の就労支援に繋がっています。

2022年の秋季育樹作業では、逗子泥岩が地表に迫る固い植樹地（横須賀市道沿いのC地区の一部）において、俗称「グリグリ工法」を新たに導入しました。これは、高田宏臣様（[NPO 法人地球守](#)代表理事）からご教示頂いた技法で、苗木の周囲の地面に人力で穴を開け



て炭粉を入れ土中環境改善を図るものです。進和学園では、施設内の孟宗竹を切って竹炭も作っていますが、これを育樹に利用することとしました。「どんぐりブラザーズ」の湘南の風（えるしい）及び横須賀ヘーメットの皆さんが中心に、新しい試みにも挑戦しています。

2022年12月9日、C地区の植樹地に60本の補植も行い、年内最終の日中活動としました。1～2月の冬季は作業を中断し、3月中旬から再開する予定です。

第23回湘南国際村めぐりの森植樹祭

2022/11/06

2022年11月6日（日）、[第23回湘南国際村めぐりの森植樹祭](#)が開催されました。事前予約登録の一般参加者100名様に主催者、関係者、スタッフも含め160名以上が集いました。今回も「マスク着用・検温・三密回避」のコロナ感染対策を講じながら、横須賀市道沿い（C・特区）に自然種の広葉樹26種類1,000本を植樹しました。

[湘南国際村めぐりの森](#)（神奈川県横須賀市）では、2009年から、故 [宮脇昭](#)先生（横浜国大名誉教授）が指導された潜在自然植生に基づく混植・密植方式（宮脇メソッド）による植樹祭を、毎年、春と秋に実施して来ました。バブル期の開発により荒れていた土地が、自然の森の姿を取り戻しています。地球温暖化や異常気象への対策として、二酸化炭素（CO2）削減及び防災強化Gs（持続可能な開発目標）の観点から、森林再生は重要で喫緊な取り組みと言えます。

今回も、進和学園はじめ[「どんぐりブラザーズ」](#)（福祉施設の森づくりチーム）が栽培した苗木を優先利用頂くと共に、在庫がない樹種については、[エスベックミック（株）](#)様のご協力を得て、合計900本の苗木を提供させて頂きました。苗木代金については、下記の企業様のご支援を賜りました。厚く御礼申し上げます。



協賛企業・団体（敬称略／苗木本数・五十音順）	
三機工業株式会社	苗木 300 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
三井住友海上火災保険株式会社	苗木 200 本をご購入の上ご提供。
本田技研工業株式会社	苗木 120 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
株式会社サン・ライフ	苗木 100 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
株式会社ホンダロジスティクス	苗木 100 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
株式会社建新	苗木 80 本ご提供についてご協賛。

(注) 上記には、横浜ゴム（株）の社員の皆様が栽培された幼苗を進和学園にご寄贈頂き、栽培を引き継がせて頂いた苗木60本（タブノキ、スダジイ、アカガシ）が含まれています。重ねて感謝申し上げます。



植樹祭を2日後に控えた11月4日（金）、苗木の仕分け、除草、水桶配置等の準備作業を行ないました。[一般社団法人 Silva](#)さんの指導に基づき、サポーターの皆様に「どんぐりブラザーズ」の湘南の風えいむ&mailえるしい、けいあい工房に研進を合わせ20名が参加しました。

植樹予定地の近くに仮設された廃材活用の「鳥居」の前で、植樹祭の成功と皆さんの健康・幸せを祈願！和気藹々とチーム・ワークを発揮して、予定通り作業を終えました。秋晴れの空の下、気持ち良く充実した日中作業でした。



第23回 湘南国際村めぐりの森植樹祭 準備作業 2022年 11月 4日(金)

Present Tree for 湘南国際村めぐりの森（10年経過した植樹の模様）

2022/07/22

Present Tree for 湘南国際村めぐりの森



[認定NPO法人環境リレーションズ研究所](#)様が推進されている [Present Tree](#) の一環として、2011年9月17日に[湘南国際村めぐりの森](#)において実施した植樹祭から10年以上が経過しました。湘南国際村においては、福祉施設による森づくりチーム「[どんぐりブラザーズ](#)」が、植樹地の保全のための育樹作業を継続して行い、障害のある方々の就労の場となっています。

研進は、そのコーディネート役を担わせて頂いています。これまで、22回の植樹祭を実施しており、植樹地はA～D地区に分布して広がっていますが、A地区の一画に Present Tree も含まれています。

この度、同NPOの活動報告として、10年が経過した植樹地の模様が、研進の出縄貴史へのインタビューを通して動画配信（1:25）により紹介されました。

（上記写真をクリックしてご覧下さい）

モッチの樹プロジェクト&どんぐりブラザーズ 植樹活動

2022/06/20

[湘南国際村めぐりの森](#)（横須賀市）における「モッチの樹プロジェクト&どんぐりブラザーズ」の連携による活動は、これまで3回のミニ植樹祭を実施しています。アマチュア・トップ・ゴルファーの望月優花さん達とのコラボ企画ですが、主に、「チャリティー・ゴルフ・コンペ」の収益の一部を、進和学園「いのちの森づくり友の会」へご寄付頂いて植樹を行っています。

2022年6月17日（金）、福祉施設の森づくりチーム「どんぐりブラザーズ」の日中活動に、望月さんをお迎えして植樹地の保全のための育樹（除草）&補植（100本）を実施しました。湘南の風（mai！えるしい&えいむ）、横須賀ホームネット、けいあい工房、進和学園の4法人5施設及び研進メンバーも含め25名が集いました。

昨年10月に植樹した場所を中心に、雑草を刈ってマルチング材として苗木の根元に敷く作業と、密植度（1平米当たり3～4本）が低い所に苗木を補植する作業を行ないました。望月さんと一緒にすることで、参加メンバーの心も浮き浮きと弾みます！コロナ感染対策にも留意しながら、植樹活動を通じた楽しい交流の時間を共有しました。

「モッチの樹プロジェクト」様のご支援による植樹は、2018年の高尾小仏植樹祭に始まり、その後、湘南国際村に舞台を移して継続し、植樹本数は累計610本となりました。森を切り開いて造成されたゴルフ場も多く、ささやかですが自然環境へ恩返しを！という思いから取り組んでいます。障害のある方々が栽培した苗木を利用するという福祉面での付加価値も高く、深く敬意を表すると共に心より感謝申し上げます。この意義深い活動をこれからも続けて行ければと願っています。



樹種名連呼のセレモニー



自然種の広葉樹100本を補植しました！



湘南国際村めぐりの森 C地区(横須賀市道)沿いの植樹地 昨秋(2021年)望月様と共に植えた場所の保全作業

【モッチの樹プロジェクト関連の植樹実績】

① 高尾小仏植樹祭	75本	(2018.9.23)
② 湘南国際村めぐりの森	101本	(2019.3.27)
③ 同上	112本	(2019.10.28)
④ 同上	222本	(2021.10.15)
⑤ 同上 (育樹・補植)	100本	(今回)
累計：610本		



【関連記事】

- ・[「モッチの樹プロジェクト」様のご支援～「ハウス」にサンタやってきました！\(2021.12.23\)](#)
- ・[YouTube 動画配信「望月優香様・モッチの樹プロジェクト」\(2021.10.16\)](#)



「モッチの樹プロジェクト & どんぐりブラザーズ」植樹活動 湘南国際村めぐりの森 2022年 6月17日



(上の写真をクリックしてご視聴下さい!)

第 22 回湘南国際村めぐりの森植樹祭

2022/05/08

[第 22 回湘南国際村めぐりの森植樹祭](#)が、2022年5月8日(日)、検温やマスク着用等のコロナ感染対策を講ずる中で実施され、約520名が参加しました。

今回は、昨年、ご逝去された[宮脇昭](#)先生(享年93才/横浜国大名誉教授)のご功績を称え、先生のご指導に感謝し先生を偲ぶ追悼植樹祭としても企画されました。当初、5,000本以上の植樹を計画しましたが、コロナ禍の長期化を踏まえ、規模を縮小して横須賀市道沿いの傾斜地(C-17地区)に30種類2,511本を植樹しました。

コロナ禍に伴う行動規制も解除され、久しぶりに開会式も行われ、イベントらしい賑わいの中で皆様の笑顔も印象的で、随所で「森づくり」を通じた交流の輪が広がりました。

同地では、バブル期の開発により緑を失っていた荒地が、継続的な植樹により自然の森の姿を取り戻しています。地球温暖化や異常気象への対策として、カーボンオフセット(CO2吸収)及び防災面においても、森林再生の意義は大きいと言えます。

宮脇先生が指導された「その土地本来の樹種(潜在自然植生)」の広葉樹を多種類選択して混植・密植しますが、進和学園はじめ「[どんぐりブラザーズ](#)」(福祉施設の森づくりチーム)が栽培した苗木を優先利用頂くと共に、在庫がない樹種については、今回も、[エスベックミック\(株\)](#)様のご協力を得て、合計2,355本の苗木を提供させて頂きました。本植樹祭をご支援下さった下記の企業・団体様並びに関係の皆様へ厚く御礼申し上げます。





傾斜地に30種類の苗木を混植・密植！

協賛企業・団体（敬称略／苗木本数・五十音順）	
三機工業株式会社	苗木 1,000 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
株式会社サン・ライフ	苗木 550 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト	苗木 444 本をご購入の上ご提供。
三井住友海上火災保険株式会社	苗木 200 本をご購入の上ご提供。
本田技研工業株式会社	苗木 100 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
株式会社ホンダロジスティクス	苗木 61 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。

（注）苗木本数は、進和学園の標準価格にて換算した本数です。また、上記には、横浜ゴム（株）の社員の皆様が栽培された幼苗を進和学園にご寄贈頂き、栽培を引き継がせて頂いた苗木が2種類（タブノキ、アカガシ）74本含まれています。重ねて感謝申し上げます。



苗木の提供及び育樹活動をご支援頂いている三機工業(株)の皆様と進和学園・研進メンバー

植樹祭を2日後に控えた5月6日（金）、苗木の仕分け作業を行ないました。一般社団法人 Silva さんの指導に基づき、サポーターの皆様に、「どんぐりブラザーズ」の湘南の風えいむ&mail!えるしい、けいあい工房、進和学園の3法人4施設に研進を合わせ30名以上が参加しました。全員マスク姿でコロナ対策にも気を付けながら、和気藹々とチーム・ワークを発揮して効率良く作業を終えることが出来ました。





【参加者】
・Silva&サポーターの皆様
・どんぐりブラザーズ：
湘南の風えいむ&Mai!えるしい
けいあい工房、進和学園&研進



植樹祭の準備作業（苗木納品・仕分け）を終えて集合写真 湘南国際村めぐりの森 2022年5月6日

（株）オカムラ様のご支援に感謝！～ 広がる「いのちの森づくり」の輪 ～

2021/11/26

2021年11月26日（金）、オフィス用家具や店舗用什器等のトップメーカーとして有名な（株）オカムラの社員の皆様が、私達が取り組む「いのちの森づくり」プロジェクトの日中活動に参加下さいました。（株）リンクプロデュース代表の原悦久様のご紹介により実現したもので、原様及び同社社員8名様とJR逗子駅で集合。湘南国際村めぐりの森（横須賀市）に向かい、「どんぐりブラザーズ」（福祉施設による森づくりチーム）と合流しました。

同地における植樹活動についてご説明申し上げた後、次の二つの作業を実際に体験頂きました。

①育樹：植樹地（D地区）の保全のための除草作業
②補植：植樹地（C地区）の混植・密植度を保つための植樹8種類60本

補植用の苗木は、湘南の風が栽培した40本と進和学園が栽培した20本を利用、苗木代金は、有難いことに、今後の育樹（3年間）に要するコストも含めてオカムラ様のご支援下さいます。



2021年11月26日（金） 10:00～12:00

【参加者（敬称略）】
（株）オカムラ：8名 （株）リンクプロデュース：1名
（社福）湘南の風 mai!えるしい：4名
（社福）湘南の風 えいむ：4名
（社福）敬愛 けいあい工房：5名
（株）研進：1名 （合計23名）



ご挨拶



育樹（除草）作業

外部からのお客様をお迎えし、「どんぐりブラザーズ」の面々も嬉しそう！気持ちも少し昂ぶっているようです。秋晴れの空の下、湘南の陽光に輝く木々に包まれて、和気藹々と楽しく交流を図りながら作業に励みました。湘南の風（mai!えるしい／えいむ）、けいあい工房、研進スタッフを含め、総勢23名が参加。お陰様で、この日の作業は効率良く進み、充実した日中作業となりました。「いのちの森づくり」の輪が広がることは大変嬉しいことであり、オカムラ様のご参加を歓迎し、ご支援に心より感謝申し上げる次第です。



【「どんぐりブラザーズ」にも新しい仲間が！】

社会福祉法人敬愛様が運営される就労継続支援B型事業所の「[けいあい工房](#)」（神奈川県横浜市戸塚区）様が、この度、「どんぐりブラザーズ」に加わりました。湘南国際村めぐりの森における育樹（除草）作業にご一緒に従事頂くこととなりました。同事業所メンバーの皆さんは、明るく社交的な方が多く、ずっと以前から共に活動しているような印象です。これからの皆さんの活躍に期待が膨らみます。

[オカムラ様「いのちの森づくり」](#)（湘南国際村）ご参加（PDF：リンクプロデュース様作成）



育樹(除草)作業を終えて、次は苗木60本を補植します！ マスクを外して静かに記念撮影！

第 21 回湘南国際村めぐりの森植樹祭 & 宮脇昭先生追悼植樹式

2021/11/07



2021年11月7日（日）、[第 21 回湘南国際村めぐりの森植樹祭](#)が開催されました。一般参加は事前登録制として募った結果、当初予定を大きく上回る200名以上の皆様が応募下さり、スタッフも含め約250名が集いました。「マスク着用・検温・三密回避」のコロナ感染対策を講じながら、横須賀市道沿いの傾斜地（C地区）に自然種の広葉樹44種類1,103本を植樹しました。

開会式等のセレモニーは省き、各班20名が揃い次第、順次、植樹地に向かい作業を開始。全10区画の植樹地も、奇数番号から割振り、偶数番号とは時間差を設ける等の工夫は、春の植樹祭と同様です。

[湘南国際村めぐりの森](#)（横須賀市）では、バブル期の開発により緑を失っていた荒地が、継続的な植樹により自然の姿を取り戻しています。地球温暖化や異常気象への対策として、二酸化炭素（CO₂）削減及び防災強化の観点からも、森林再生は有効で必要な取り組みです。



皆で力を合わせて頑張りました！ 100本の苗木を植えた第4班の皆さん

午後からは、7月にご逝去された宮脇昭先生（横浜国大名誉教授・享年93歳）を追悼する植樹式が、プロジェクト・メンバー有志により行われました。この地での植樹は、2010年、宮脇先生のご指導の下に始まり、毎年、春秋の植樹祭を通じて「その土地本来の樹種（潜在自然植生）」を混植・密植する「宮脇方式」を採用し、着実に成果を蓄積して来ました。追悼植樹式では、宮脇先生への感謝と先生の遺志を継いで行くことの決意も新たに、先生のお年と同じ93本の苗木を植樹しました。



午後から行われた宮脇昭先生追悼植樹式



[宮脇昭先生 追悼写真（どんぐりブラザーズ植樹大作戦／湘南国際村 2014.11.23-PDF-）](#)

今回も、進和学園はじめ「[どんぐりブラザーズ](#)」（福祉施設の森づくりチーム）が栽培した苗木を優先利用頂くと共に、在庫がない樹種については、[エスベックミック\(株\)](#)様のご協力を得て、合計1,008本（追悼植樹式の93本を含む）の苗木を提供させて頂きました。苗木代金については、下記の企業様のご支援を賜りました。厚く御礼申し上げます。



宮脇昭先生 追悼植樹式 湘南国際村めぐりの森プロジェクト・メンバー有志

協賛企業・団体（敬称略／苗木本数・五十音順）	
三機工業株式会社	苗木 250 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
本田技研工業株式会社	苗木 200 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
三井住友海上火災保険株式会社	苗木 200 本をご購入の上ご提供。
株式会社 建新	苗木 150 本の提供についてご協賛。
株式会社 ホンダロジスティクス	苗木 150 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
その他	苗木 58 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。

（注）上記には、横浜ゴム（株）の社員の皆様が栽培された幼苗を進和学園にご寄贈頂き、栽培を引き継がせて頂いた苗木137本（ヒメユズリハ、シロダモ、ネズミモチ）が含まれています。重ねて感謝申し上げます。

YouTube 動画配信 ～ 望月優花様・モッチの樹プロジェクト ～

2021/10/16

アマチュア・トップ・ゴルファーの望月優花様と「どんぐりブラザーズ」（福祉施設の森づくりチーム）との連携による植樹活動は、2018年9月の高尾小仏植樹祭に始まり、2019年以降は、湘南国際村めぐりの森において「モッチの樹プロジェクト&どんぐりブラザーズ ミニ植樹祭」を3回実施しています。

ゴルフ場が、木々を倒し環境を犠牲にして建設されるとの問題意識から、自然に恩返しをしたいとのモッチーこと望月様とお仲間が、チャリティー・ゴルフを企画して参加者お一人につき苗木1本を植樹する計画を立案。有難いことに、進和学園「いのちの森づくり友の会」へご寄付を頂いています。また、望月様に仲介頂いたその他の助成も活用して、障害のある方々が栽培している苗木を優先的に利用し、ささやかな植樹活動に取り組んでいます。

昨日（2021年10月15日）開催したばかりの湘南国際村めぐりの森でのミニ植樹祭の様子が、望月様の編集により早くも YouTube 動画で配信されました。先日、進和学園（しんわろネッサンス）に来訪された際に取材下さった内容（[ホンダ車部品組立、湘南とまと工房](#)）も合わせて公開頂きました。進和学園はじめ「どんぐりブラザーズ」メンバーも登場しています。

コロナ禍で社会全体が停滞し、憂鬱な気持ちが蔓延する中で、明るさと元気に溢れる動画は、多くの方々の励みになり希望と勇気を授けてくれます。是非、ご視聴下さい。



（上の写真をクリックしてご視聴下さい！）



第3回 Goldies Charity Cup 総勢112名参加！ 2019年5月17日
チャリティー・ゴルフ・コンペより苗木112本分のご寄付を賜りました！

望月優花さん

【モッチの樹プロジェクト関連の植樹実績（ご寄付活用分）】

① 高尾小仏植樹祭	75本	(2018年 9月 23日)
② 湘南国際村めぐりの森	101本	(2019年 3月 27日)
③ 同上	112本	(2019年 10月 28日)
④ 同上	222本	(2021年 10月 15日)

累計：510本



モッチの樹プロジェクト&どんぐりブラザーズ ミニ植樹祭

2021/10/15

2021年10月15日（金）、湘南国際村めぐりの森（横須賀市）において「モッチの樹プロジェクト&どんぐりブラザーズ ミニ植樹祭」を開催しました。アマチュア・トップ・ゴルファーの望月優花さんとお仲間との連携による一連の取り組みです。これまでは、「チャリティー・ゴルフ・コンペ」の収益の一部を、進和学園「いのちの森づくり友の会」へご寄付頂いて植樹を行って来ましたが、今回は、望月様の仲介により一般社団法人 MDRT 日本会議（注）様からのご寄付を苗木代金の一部に充当させて頂きました。



望月様と一緒に福祉施設の「森づくり」チーム「[どんぐりブラザーズ](#)」の日中活動として実施しました。湘南の風（mai！えるしい&えいむ）、横須賀ヘーメット、進和学園の3法人4施設及び研進メンバーも含め23名が集いました。コロナ感染対策（検温・マスク着用・3密回避）を講じながら、自然種の樹種22種類360本の苗木を植えました。（写真撮影時だけマスクを外しました）

「モッチの樹プロジェクト」様のご支援による植樹は4回目、累計植樹本数は510本となりました。森を切り開いて設けられたゴルフ場も多く、環境への負荷が大きいとの問題意識から、ささやかながら自然環境保全を図ることを目的とした取り組みで、障害のある方々が栽培した苗木を優先利用するという付加価値も高く、深く敬意を表すると共に心より感謝申し上げる次第です。



休憩時間 望月優花さんと交流

（注）[Million Dollar Round Table \(MDRT\)](#)：生命保険・金融専門家を会員とする世界的な組織です。

会員の皆様による社会貢献活動を支援する[クオリティー・オブ・ライフ・グラント \(QOLG\)](#) という助成制度が設けられ、会員の望月優花様の申請により10万円の助成が実現しました。

【モッチの樹プロジェクト関連の植樹実績（ご寄付活用分）】

① 高尾小仏植樹祭	75本	（2018年 9月23日）
② 湘南国際村めぐりの森	101本	（2019年 3月27日）
③ 同上	112本	（2019年10月28日）
④ 同上	222本	（2021年10月15日～今回～）
累計：510本		

参考：[モッチの樹プロジェクト&どんぐりブラザーズ ミニ植樹祭計画書](#)



望月優花さん 進和学園「どんぐりハウス」ご来訪！

ミニ植樹祭を1週間後に控えた10月7日、望月優花さんが、進和学園「どんぐりハウス」へ来訪されました。高尾小仏植樹祭(10/10)用の苗木を搬出するための作業を行なう「どんぐりグループ」メンバーを激励して下さいました。



第20回湘南国際村めぐりの森植樹祭

2021/05/09

[第20回湘南国際村めぐりの森植樹祭](#)が、2021年5月9日（日）、コロナ禍に伴い一般参加を事前登録頂いた200名様に限定して執り行われました。「検温」や「3密回避」等のコロナ感染対策を講ずる中で実施されました。横須賀市道沿いの傾斜地（C地区）に自然種の広葉樹44種類3,000本を植樹することが出来ました。

昨年の植樹は、春秋共にプロジェクトチームの日中作業に落とし込んで分散実施しましたが、今回、開会式や集合写真撮影等は取り止

め、各班15～20名が揃い次第、順次、植樹地に向かい作業を開始。全10区画の植樹地も、奇数番号から割振り、偶数番号とは時間差を設ける等のソーシャルディスタンスを保つ工夫を凝らしました。東京をはじめコロナ緊急事態宣言が発せられており、私達スタッフも神奈川県民中心で対応しました。参加頂いた皆様は、各自マスクを着用し私語を控えながらも、爽やかな五月晴れの休日、自然と触れ合う貴重な時間を共有しました。

[湘南国際村めぐりの森](#)（横須賀市）では、バブル期の開発により緑を失っていた荒地が、継続的な植樹により自然の森の姿を取り戻しています。地球温暖化や異常気象への対策として、二酸化炭素（CO₂）の吸収及び防災面においても、森林の再生は有効です。[宮脇昭](#)先生（横浜国大名誉教授）が提唱される「その土地本来の樹種（潜在自然植生）」の広葉樹を多種類選択して混植・密植しますが、進和学園はじめ「[どんぐりブラザーズ](#)」（福祉施設の森づくりチーム）が栽培した苗木を優先利用頂くと共に、在庫がない樹種については、[エスベックミック（株）](#)様のご協力を得て対応、合計2,500本の苗木を提供させて頂きました。本植樹祭をご支援下さった下記の企業・団体様並びに関係の皆様は厚く御礼申し上げます。



協賛企業・団体（敬称略／苗木本数・五十音順）	
株式会社サン・ライフ	苗木 800 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
三機工業株式会社	苗木 500 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト	苗木 444 本をご購入の上ご提供。
湘南国際村めぐりの森 混植・密植方式植樹推進グループ	苗木 222 本をご購入の上ご提供。
三井住友海上火災保険株式会社	苗木 200 本をご購入の上ご提供。
本田技研工業株式会社	苗木 200 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
株式会社ホンダロジスティクス	苗木 100 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
ホットケーキパーラーFru-Full	苗木 34 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。

（注）苗木本数は、進和学園の標準価格にて換算した本数です。また、上記には、横浜ゴム（株）の社員の皆様が栽培された幼苗を進和学園にご寄贈頂き、栽培を引き継がせて頂いた苗木が相当数含まれています。重ねて感謝申し上げます。

植樹祭を2日後に控えた5月7日（金）、混植・密植方式による植樹が確実にできるよう、44種類3,000本の苗木の仕分け作業を行いました。本プロジェクトを主導される一般社団法人 Silvaさんの指導に基づき、「どんぐりブラザーズ」の湘南風えいむ&mai!えるしい、横須賀ヘーメット、進和学園の3法人4施設に研進を合わせ総勢30名が参加しました。
全員マスク姿でコロナ対策にも気を付けながら、和気藹々とチーム・ワークを発揮して予定通りの作業を終えることが出来ました。

